

セミナー案内・報告 Seminar Information And Activity Report

ここでは、近畿地区手術看護認定看護師会が主催するセミナー案内と、開催後のセミナー報告を行っています。

【ショートカット】

[「セミナー案内」](#)、[「セミナー報告」](#)、[「セミナー開催実績」](#)

▶ セミナー案内

2017年度セミナー予定

セミナー名をクリックすると詳細画面に移動します。

セミナー申し込みは一覧の「申込み」にあるPeatixをクリックしておこなってください。

セミナー申し込みは「peatix」で行いますので、Peatixアカウントを作成するか、Twitter・Facebook・Google アカウントにてログインしてください([peatixの詳細についてはこちらをご参照ください](#))。*一部の研修に関しましては申し込み方法が異なります。

[テーマ：「講義と事例からみんなで考える手術看護倫理」](#)

日時：2017年12月2日(土) 13:00-17:00

対象：1-5年目の手術室看護師

場所：臨床研究情報センター(TRI)

担当：兵庫ブロック

申込み：Peatix(一部施設には案内の葉書が送付されます)([申込み終了](#))

テーマ：「手術室での教育・指導」

日時：2018年1月13日(土) 13:00-

対象：教育や指導に携わる看護師

場所：京都府立医科大学

担当：京都滋賀ブロック

申込み：施設に送付される葉書の申し込み方法に準じます([申込み終了](#))

[テーマ：「第3回 やってみよう!! 実践に活かす手術体位固定セミナー」](#)

日時：2018年2月17日(土) 13:00-16:30

対象：ラダーⅠ・Ⅱ

場所：大阪マーチャンダイズ・マートOMMビル1階

担当：大阪奈良和歌山ブロック

申込み：FAX(一部施設には案内の葉書が送付されます)

テーマ：「手術体位」

日時：2018年3月21日(水) 13:00-

対象：京都府内の施設に勤務する手術室看護師(1施設2名まで)

場所：京都テルサ

担当：京都滋賀ブロック

申込み：【注】本研修に申し込みができるのは参加人数の都合上、案内葉書を送付している施設に限ります

[テーマ：「手術看護業務基準に則ったME機器の取り扱い—電気メスを安全に使用し患者の安全を守ろう!!—」](#)

日時：2018年3月31日(土) 13:00-16:00

対象：ラダーⅠ・Ⅱ

場所：大阪産業創造館

担当：大阪奈良和歌山ブロック

申込み：**Peatix**(一部施設には案内の葉書が送付されます) ([申込み終了](#))
[フォームから参加申し込み](#)([申込み終了](#))

▶ セミナー報告

近畿地区手術看護認定看護師会

第31回日本手術看護学会年次大会 認定看護師教育セミナー

認定看護師による術後のフィジカルアセスメントを考える -患者を守る看護の力を身につけよう-

2017年11月4日(土) in大阪



今回の教育セミナーは、一昨年の術前・昨年度の術中に関するフィジカルアセスメントから継続し、術後に着目して企画しました。

会場の皆様には、現場で活用できるフィジカルアセスメントを知ってもらうこと、教育セミナーを楽しみながら学ぶ機会に出来るような工夫をしました。参加者それぞれのアセスメントが提示出来るように会場参画型を取り入れ、事例動画に対するクイズ形式としました。また参加者がアセスメントをしやすいように、寸劇を用いて情報の整理を行いました。学会の場で寸劇を行うことに、勇気が必要とした進行でしたが、100分という時間を楽しく学んで頂きたいという強い思いで企画をしました。

セミナー当日は、有難いことに開始前から800席の会場内は超満員となり、立ち見の方も多く見られ、会場入り口も開放しての開催となりました。進行していく中で、会場の皆様がセミナーに参加されている姿を見て、会場内で一体感が生まれ、企画者として安堵と喜びを感じました。また、解説に真剣に耳を傾けメモをとられている姿も多々見え、現場で活用して頂けるセミナーになったのではないかと感じます。

認定看護師として考え目指すことは、手術看護の質の向上です。全国の手術室看護師が同じ目標に向かっていける様に、これからも近畿地区の手術看護認定看護師一同、皆様と学びの場を作っていきたいと思っております。今回の教育セミナーが、今後の皆様にとって一助となり、フィジカルアセスメントを日々の現場で活用して頂き、患者様へ還元できれば幸いです。

担当：手術看護認定看護師 中村泰大（京都中部総合医療センター）

担当：手術看護認定看護師 野瀬珠美（地方独立行政法人大阪市民病医院機構 大阪市立総合医療センター）



大阪奈良和歌山ブロック

第3回 やってみよう!! 実践に活かす手術体位固定セミナー 平成30年2月17日(土) in大阪

インフルエンザが猛威を奮う中、77名の手術室看護師の方々にご参加いただきました。

手術体位固定セミナーは、今回で3回目となります。

講義だけではなく、実際に体位固定を行っていくことがこのセミナーの醍醐味ですが、「実際に行ってきたので、分かりやすかったし、すぐに使えるものだなと思った」「たくさん物品を使って、実際に体位作成ができておもしろかった」という感想をいただくことができました。

また、「普段疑問に思っていることをスムーズに聞けてよかった」など、認定看護師の知識や技術に触れる機会にもなったのではないのでしょうか。

手術室はどちらかと言えば閉鎖的な空間です。

とかく、自分の施設の手順や作法が「基準」や「標準」だと考えがちになってしましますが、こうして様々な施設の方との交流を通して、双方で学ぶことで、新たな発見や気付きにつながります。

私自身も今回のセミナーで、「目からうろこ！」な学びを持って帰ることができました！



体位固定は、手術室看護師の腕の見せ所です。

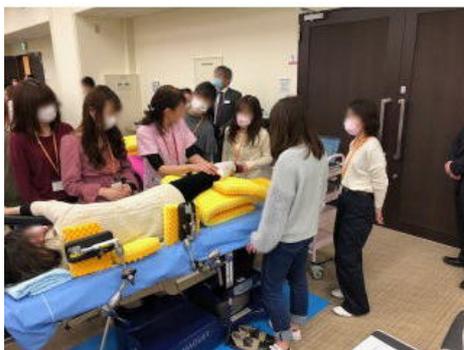
麻酔科医、外科医とコミュニケーションをとりながら、患者にとってベストな手術体位を目指せるよう、これからも一緒に考えていければと思います。

毎回、申込開始直後に定員に達してしまう本セミナー。

来年度からは、できるだけ多くの手術室看護師の方々に参加いただけるように2部制にするなどの改善案を検討していく予定です。

今回、残念ながらご参加いただけなかった方もこれに懲りずに？次回のセミナーを楽しみにしていただければ幸いです。

担当：山口恵理香（パナソニック健康保険組合 松下記念病院 手術看護認定看護師）



手術看護業務に則ったME機器の取り扱い～電気メスを安全に使用し患者の安全を守ろう～平成30年3月31日(土) in大阪

今回、電気メスに焦点を当て、『患者の安全を確保しME機器を取り扱うことができる』を目的に実施した。対象者は、ラダーレベルⅠ・Ⅱとし、25名の参加がありました。セミナーでは、悪いバージョン・良いバージョンとそれぞれ動画を上映し、前者では、患者の安全を守るために必要であったことや注意しなければならなかったことなど、各グループで情報交換を行いました。情報交換前にアイスブレイキングの活用はコミュニケーションを促進するのに有効な手法だったと思います。その後、後者の動画を観て、セミナーを通しての気付きや学びを発表してもらいました。発表では、事前準備やコミュニケーション、医師の協力等、各グループからよい学びが得られていました。また、各施設での実践的な工夫の仕方を十分に情報交換できているグループもあり、多職種連携・チームの視点でのアプローチも発言が見られたことは、有意義な情報交換が出来たと評価しています。





これまでもブロック会では、『災害対策』や『ラテックスアレルギー』などのセミナーを開催してきました。今後も、患者が安全で安楽に手術を受けて頂けるよう、手術室看護師として必要不可欠なセミナーを考案し開催していきます。

担当：三宅好樹(大阪急性期・総合医療センター 手術看護認定看護師)

兵庫ブロック

「講義と事例からみんなで考える手術看護倫理！」 2017年12月2日(土) in 兵庫



1年目から5年目の手術室看護師を対象に倫理についてのセミナーを開催しました。セミナーでは、倫理とは何かという基礎的な部分から、手術室における倫理とは何か、手術室看護師としてどのような関わりが必要か、講義を行いました。その後、Jonsenの4分割シートを活用し事例分析を行い、どのような倫理的問題が生じ、手術室看護師としてどのような対応をする必要があるのか、グループワークで検討しました。一見堅苦しいイメージのある倫理についてのセミナーでしたが、参加者からは「手術看護倫理というテーマで行われている研修はあまり多くなく、参加してみたかった。」「倫理という難しそうなテーマだったが、楽しく学ぶことができました。」「倫理的な問題があった際に今回学んだことを活かしていきたい。」などの感想があり、好評でした。

今回セミナーを担当して、普段の看護実践の中で、倫理的問題に悩んでいる手術室看護師が多いことを実感しました。研修に参加された皆様が、手術室看護師として、どのような看護を提供する必要があるかを考え、自施設で倫理的な視点をもって看護実践が行えることを期待しています。

担当：手術看護認定看護師 中尾康樹 (神戸労災病院)

京都滋賀ブロック

手術室看護師の教育・指導 2018年1月13日(土) in 京都



術室における人材育成として、新人・中途採用者等の教育・指導方法についてセミナーを行いました。セミナーの目的として、参加して頂いた方に一つでも自部署で活用できるものを持ち帰ってほしいという思い、施設の違う6名の手術看護認定看護師が、自施設で実際に取り組んでいる教育・指導について講義・発表を行いました。明日から使える新人さんへの声掛け方法や、教育・指導の体制や評価方法など様々なものがあり、アンケート結果でも概ね満足して頂いたようでした。講義・発表後には情報交換会として参加して頂いた方たちを4～5人のグループに分け、他施設の看護師と教育や指導について様々な意見交換ができる場を設けました。「同じ思いの看護師がいる。自分も頑張ろうと思った」等、明日への活力となる有意義な時間となりました。

教育・指導に関しては「これが正解」というものは無く非常に難しい課題ですが、手術室看護師として患者さんの「安全を守る」「安楽を提供する」という目標を達成するために、今後も人材育成の面からアプローチしていきたいと思えます。

担当：手術看護認定看護師 川原伸之 (京都桂病院)

実践で活かせる手術体位 2018年3月21日(土) in 京都



手術体位についてのセミナーは、大阪・兵庫ブロックでも好評を得ており、京都ブロックでも開催してほしいという意見を受けて今回初めて開催しました。手術体位についての基礎的な内容のため、対象者をラダーレベルⅠ～Ⅱとしました。

皮膚損傷や神経損傷など手術体位による二次的損傷を含めた手術体位についての基本的な内容の講義のあと、実際に手術体位の固定を行ってもらう実践を行ないました。今回は、仰臥位・側臥位・載石位・腹臥位について、それぞれ基本を学びました。また、グループ内で日頃の悩みなどについて話し合う時間をもち、施設による違いや、様々な工夫など情報共有できる場を設けました。

参加者のみなさんには、積極的に実践に取り組んで頂き、自由に意見を言い合いながら和気あいあいとした雰囲気が進めることができました。情報共有の場でも多くの意見が出て活発な議論になりました。アンケートでも、多くの方から満足できたという感想を頂くことができました。

今回は初めての試みでもあり、主催者側の私たちも運営方法や内容についてあれこれ模索しながらの開催でした。結果としては盛況のうちに終えることができ、参加者のみなさんや協賛企業のみなさまに感謝する次第です。

手術体位は手術看護にとって永遠のテーマでもあり、ベッドや除圧具などは日進月歩、さらに求められる手術体位は日々個性を増し難易度も増えています。今後も私たちのベシク企画として、参加者のみなさんに満足していただけるセミナーに成長させていきたいと思えます。

担当：京都滋賀ブロックセミナー担当

▶ セミナー開催実績

過去セミナー開催一覧

[2016年度](#)

[2017年度](#)